

RPA及び図面管理ソフト導入によるバックオフィス 生産性向上、及び、DX導入に対する企業内風土の構築

1 概要

少人数で実施しているバックオフィス業務の一部を、RPAを導入し自動化する。これにより生産性の向上、人の記憶に頼る業務をDX化し精度向上を図る。また、管理職のDXスキルを向上させるため、製造業におけるDX研修を実施する。

2 実施内容と成果

RPAを導入し、バックオフィス業務の一部を自動化。従来、社歴が長い社員が担当する業務がブラックボックス化し、生産性の把握も困難であった。また少人数組織のため引継ぎも上手くいかなかった。今回RPAを導入し、一部の業務のオートメーション化を実施。残業時間、確認時間の短縮に取り組んだ。RPAの知識をより一層深め、業務の自動化を更に進めてゆく。

3 人材育成の取組

製造分野におけるDXを推進するため、職業能力開発促進センター主催の研修を受講。生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を学んだ。

